

【活動日誌327】ミニ展示「日獣大のありくい展」会期残りわずか！

7月20日に始まったミニ展示「日獣大のありくい展」はすでに御覧いただいたでしょうか？本ミニ展示は、7月3日に新潮社より発売された村上春樹による新刊『夏帆—The Tale of KAHO—』の第2章のタイトルが「武蔵境のありくい」であることに着想を得て企画されたもので、これまでに非公開としていた標本の中から「アリクイ」に関連したものを展示しています。

ご好評をいただいている「日獣大のありくい展」ですが、今週末の8月9日(日)で終了となります。通常は日曜日を休館日としていますが、オープンキャンパスの開催にあわせて特別に9:00から15:00まで開館いたします。また、8月8日(土)と8月9日(日)は学生ボランティアによる解説も予定しています。「武蔵境」にて「ありくい」を見ることができる最後のチャンスをどうぞお見逃し無く！

(学芸員 石井)

#日本獣医生命科学大学 #博物館 #武蔵境 #アリクイ #ミナミコアリクイ #ありくい

■【お知らせ】ミニ展示「日獣大のありくい展」開催

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20260717-01.html/>

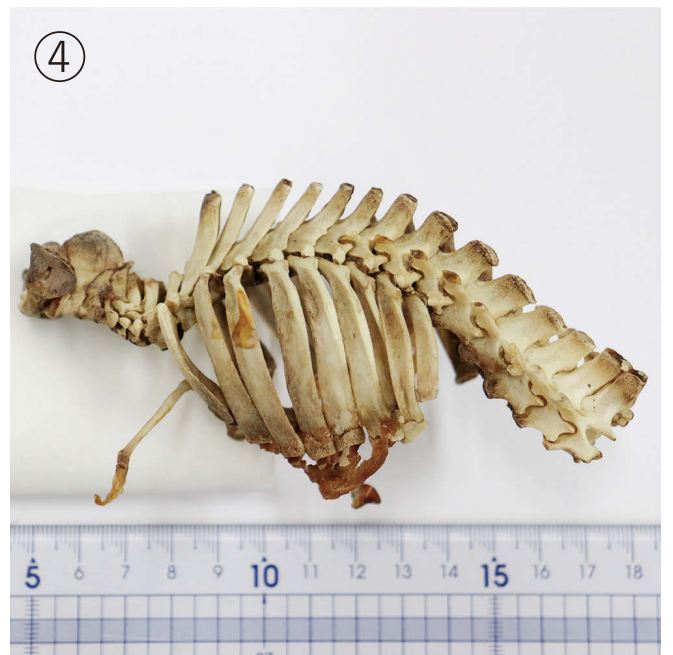
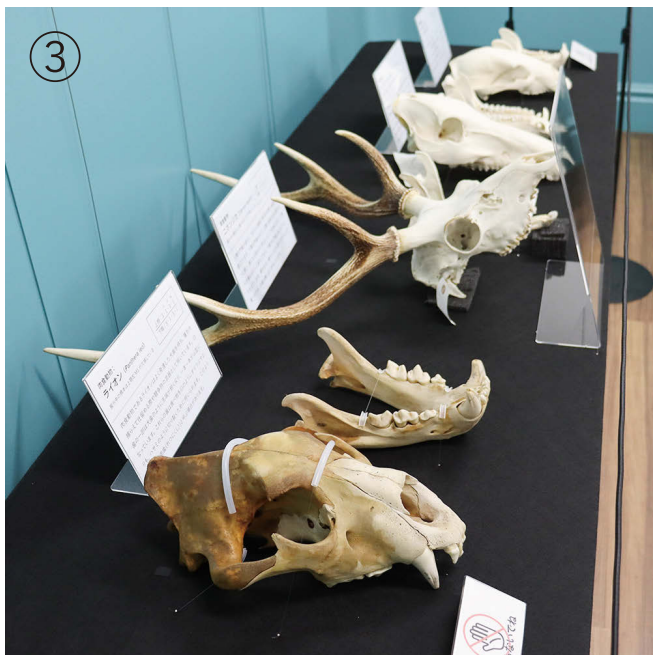
展示の詳細はこちら

■ニチジュウNAVI オープンキャンパス 8.8(土)・9(日)

<https://www.nvlu.ac.jp/nichijyunavi/event2026/0808/index.html>

オープンキャンパスの詳細情報や申込みについてはこちら

※8月8日・9日とも通常と開館時間が異なります(受付開始9:00、受付終了14:30、閉館15:00)



- ① 会場ではミナミコアリクイの骨格標本を展示しています
- ② ミナミコアリクイは歯が1本もありません。特徴的な姿形をぜひ展示室でご確認ください。
- ③ アリクイとの比較用のため、肉食・草食・雑食の動物たちの頭蓋骨を展示しています
- ④ 8月8日・9日の限定で、ミナミコアリクイと同じ異節上目の動物であるココノオビアルマジロの骨格標本(頸椎から腰椎部分)をご覧ください。解説用にスタッフが持ち歩いていますので、興味のある方はお声がけください！

【活動日誌328】

学芸員課程実務実習：博物館所蔵図書を用いた展示企画3回目

活動日誌320、活動日誌325で紹介した学芸員課程の実務実習「博物館所蔵図書を用いた展示企画」ですが、先日3回目の実習が実施されました。3回目の実習では、展示する書籍の展示の仕方、またキャプションや解説文などを含めた、実際の配置を確定させるのとともに、4回目に実施する展示の発表の準備を進めてもらいました。

また、展示する書籍のキャプションを用意するために、履修生たちにカッターを使ってA4サイズに4枚印刷されたキャプションをそれぞれきれいに切り出すという作業をやってもらいました。履修生たちはカッターを使った経験はあっても、展示物として同じサイズで正確にカットするという経験はありません。最低1人1枚以上キャプションをカットしてもらいましたが、みんな思ったようにまっすぐに切れなかったり、枠線をうまく切り落とせなかったりと苦労しつつ、楽しんで作業してくれていたようです。

奥田先生による実習は次回が最終回となります。次は班ごとに展示を完成させて、発表する予定です。

(学芸員 廣瀬)

日本獣医生命科学大学 # 博物館 # 学芸員課程

■【活動日誌320】学芸員課程の実務実習が始まりました

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid02THpYRtE6ymmvgwpMVSvvpXzPoF8zYJ1nRxsTfYiRrs712cVEQZNq19CYA5Qf4mcuI>

奥田先生による1回目の実習の様子はこちらの記事にて紹介しています。

■【活動日誌325】学芸員課程実務実習：博物館所蔵図書を用いた展示企画2回目

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid02MZcfZBscECS7BFChxQDXvdJMvxxpnVGc91JWHXLL4KU5YDKsQ1WBBjFcVTHHRKX5I>

奥田先生による2回目の実習の様子はこちらの記事にて紹介しています。

2026年8月13日の記事



- ① 配置を検討している様子。
- ② キャプションをカットする様子。怪我がないように、全員、学芸員が見ている前でカットしてもらいました。

【活動日誌329】オープンキャンパスで特別開館を実施しました

8月8日から9日にかけて、本学のオープンキャンパスが開催され、当館も特別開館を実施しました。

毎年8月に開催されるオープンキャンパスが本学における最大規模の入試関連イベントであり、2日間で2400人を超える方が来場されました。博物館も多くの方にご来館いただき、8日は518名、9日488名、合計1006名の方に展示をご覧いただきました。

今回のオープンキャンパスでは、事前に説明を受けた本学の在学生在が展示室に在室し、展示の解説を行いました。来館された方を対象としたアンケートでは、「解説がとても分かりやすく、質問に対しても丁寧に返していただきとてもわかりやすかったです。」や「1階の展示でスタッフの方に質問したところすごく丁寧に回答してくださりとても魅力的な展示だと思えることができました。」など、たくさんのお褒めの言葉をいただいています。

7月から開催していたミニ展示「日獣大のありくい展」は、9日の特別開館をもって終了しました。現在、会場としていた一号棟展示室は全面閉鎖となっており、次の展示の準備を進めています。新たな展示については近日中に情報をアップする予定となっていますので、どうぞお楽しみに！

(学芸員 石井)

#日本獣医生命科学大学 #博物館 #オープンキャンパス



- ① 学生による解説の様子①: 企画展「日獣大驚異の部屋」にて展示中のニホンザルの頭蓋骨について説明をする様子。
- ② 学生による解説の様子②: 「日獣大のありくい展」では、特別にココノオビアルマジロの骨格標本を活用しながら解説を行いました。
- ③ 学芸員による出張解説も行われました。

【活動日誌330】

学芸員課程実務実習：博物館所蔵図書を用いた展示企画4回目

これまで3回にわたって紹介してきた学芸員課程の実務実習「博物館所蔵図書を用いた展示企画」ですが、最終回となる4回目の実習も先日実施されました。4回目は実際に書籍やキャプション、解説パネルなどを展示台に見立てた机の上に配置し、1日限りの展示会を開催しました。各班の展示を実習生同士で見学したあとは、班ごとに自分たちが作った展示について発表し、質疑応答をお互いに行いました。

これまで、書籍を使って展示を考えてもらうという実習は何度かやってきましたが、同じような書籍を使ってもそれぞれ切り口が違い、まったく同じテーマとなるということはなく、今年もどの班もとてもユニークな展示を作ってくれました。また今年は初めて、企画を考えるだけでなく実際に展示してみたことで、見学者に見てもらうためにどのように配置するかをそれぞれに工夫している様子が見られました。また発表や学生たち同士での質疑を通じて気づいたこと、学んだことも多かったように感じられました。

限られた時間内で展示のテーマを考え、展示物を作り、それを実際に展示するところまでやるというのは本当に大変だったと思いますが、これまで以上に履修生たちが多くのことを経験して学ぶ機会となったと思います。

奥田先生による実習はこれで終了となりました。次は後期になってから植物標本と昆虫標本の作成の実習を実施する予定です。またその実習の様子もFacebookで報告させていただきます。

(学芸員 廣瀬)

#日本獣医生命科学大学 #博物館 #学芸員課程

■【活動日誌 320】学芸員課程の実務実習が始まりました

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid02THpYRtE6ymmvgwpMVSvvpXzPoF8zYJ1nRxsTfYiRrs712cVEQZNq19CYA5Qf4mcuI>

奥田先生による1回目の実習の様子はこちらの記事にて紹介しています。

■【活動日誌 325】学芸員課程実務実習：博物館所蔵図書を用いた展示企画2回目

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid02MZcfZBscECS7BFChxQDXvdJMvxxpnVGc91JWHXLL4KU5YDKsQ1WBBjFcVTHHRKX5I>

奥田先生による2回目の実習の様子はこちらの記事にて紹介しています。

■【活動日誌 327】学芸員課程実務実習：博物館所蔵図書を用いた展示企画3回目

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid0qDvccBjrvC8T2ryfAAc3tZnuyPs3ViY9rJiKc9ibtMBBWNpYc7qTuc1Xfty4odJEI>

奥田先生による3回目の実習の様子はこちらの記事にて紹介しています。



- ① それぞれの班の展示をほかの班のメンバーが見学している様子。各班交代で自分たち以外の班の展示を見学してから発表と質疑を行いました。
- ② 学生たちの発表の様子。発表後は発表した班のメンバーが司会役を務めて質疑も進めました。

【活動日誌331】新たなミニ展示の準備を進めています

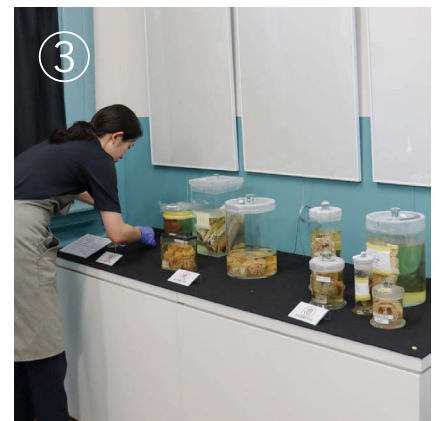
7月から行っていたミニ展示「日獣大のありくい展」が8月9日をもって終了となりました。現在は会場としていた一号棟展示室を閉鎖し、次のミニ展示の準備を進めています。

新たなミニ展示のテーマは「病理学」です。普段の生活では聞き慣れない言葉かもしれませんが、本学では獣医学部獣医学科の獣医病理学研究室と水族医学研究室にて、同学部獣医保健看護学科の病態病理学研究分野にて、病理学に関連した研究が日々行われています。新たなミニ展示では「病理学とは一体何なのか?」「研究室ではどのような研究が行われているのか?」をわかりやすく解説しつつ、それぞれの研究室からご提供いただいた貴重な標本を展示する予定です。

ミニ展示は9月7日の開始を予定しています。詳細は後日アップいたしますので、どうぞお楽しみに！

(学芸員 石井)

#日本獣医生命科学大学 #博物館 #病理学



- ① ミニ展示にて新たに展示する標本を選んでいる様子。今回のミニ展示は学内の先生にもご協力をいただいています。
- ② 展示予定の標本の一つ(ウシの角膜皮様腫)
- ③ 展示室にて展示予定の標本の配置を検討する様子。一号棟展示室を閉鎖し、急ピッチで準備を進めています。

【活動日誌332】中学生の団体見学を受け入れました

当館では、学芸員による解説付きの団体見学を受け入れています。先日は東村山市立東村山第四中学校 科学部の皆様が博物館の見学にいらっしゃいました。

当日は、各部屋にて展示している展示をツアー形式でご紹介しました。自然系展示室では常設展示している剥製だけでなく、現在開催中の企画展「日獣大驚異の部屋」において展示している歴史資料もご覧いただきました。歴史系展示室では、私立獣医学校時代に作られた手書きの講義録の読み解きにチャレンジしました。

団体見学をご希望の方は、来館希望日の3週間前までのお問い合わせをお願いしています。都合により開館日であっても団体見学をお受けできない場合や、スタッフによる解説ができない場合がございますので、まずは当館までご相談ください。

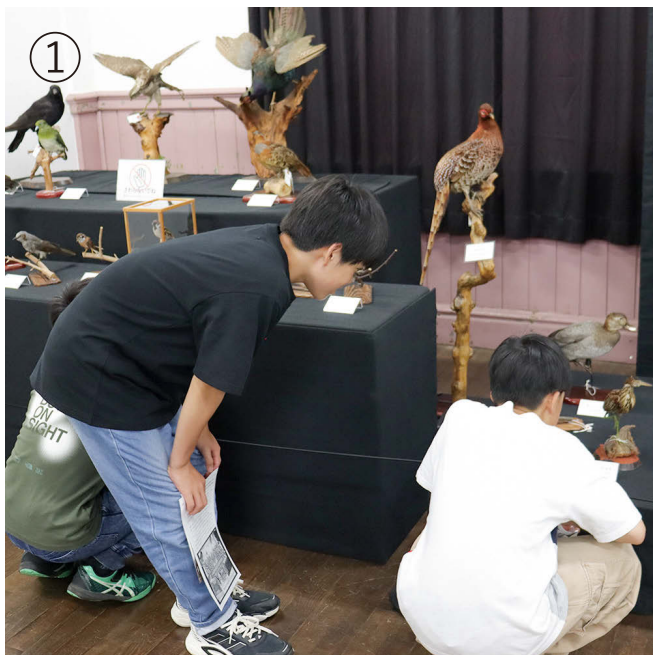
(学芸員 石井)

#日本獣医生命科学大学 #博物館 #団体見学

■来館案内

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/004/access/index.html/>

団体見学をご希望の方は「開館情報」部分の「団体見学のお申込みについて」をご確認のうえ、申込みフォームよりお申し込みください。



① 野鳥の剥製を観察する様子

② 企画展「日獣大驚異の部屋」にて、獣医極の解説を行う様子